

わかる・できる理科の授業 ～言語活動を充実させる～

図や表、グラフなどをもとに、話し合い活動を充実させる方法はありますか？



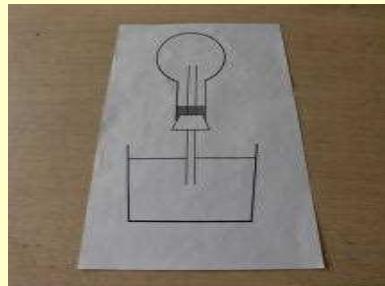
話し合い活動を充実させる方法の一つに、クリアボードの活用があります。準備も簡単です。理科の授業に限らず、他教科でも手軽に活用できますので、ぜひ使ってみてください。

※ 今回紹介する「クリアボード」は、ディスカッションボード（Dボード）やコミュニケーションボード等、複数の名称で活用されています。会津教育事務所では、「クリアボード」として紹介します。

準備物



クリアファイルA3サイズ

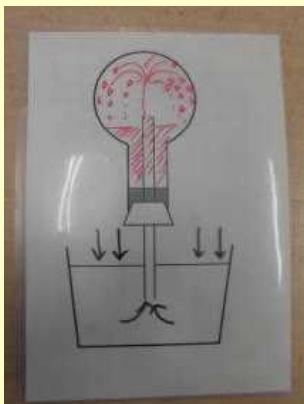


表や絵などを描いたコピー用紙



ホワイトボード用マーカーとイレーザー

活用法



クリアファイルに表や絵などを描いたコピー用紙を挟み、ホワイトボード用マーカーで記入します。

クリアボードの利点

- ① 容易に消せるので、文字だけでなく、イラストや矢印等で自由に記入することができる。
- ② 子どもの思考過程を可視化することができ、グループで共有することができる。
- ③ イレーサーで消しても、コピー用紙の表や絵は消えないので、ホワイトボードより活用範囲が広がる。
- ④ クリアボードの裏に、マグネットシートを貼り付けると、黒板に貼ることもできる。

班名	記録
1 班	10秒
2 班	28秒
3 班	11秒
4 班	5秒
5 班	27秒
6 班	15秒



クリアボードを活用した、話し合い活動の例を紹介します。（中学校3年 生物の進化）

- 1 学びがいのある魅力的な学習課題を提示する。



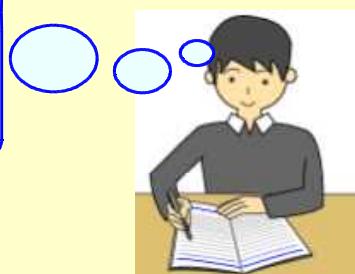
始祖鳥の復元図と骨格図を見せ、「この動物は何類でしょうか？」と問いかけます。

- 2 個人で考えさせる。



まずは、生徒一人一人にしっかりと考え方させる時間を与えます。その際、既習事項をもとに「根拠」をもたせることが大切です。「根拠」はノートやワークシートに記入させます。

鳥類のように見えるけど、くちばしには歯があり、つばさには3本の指がある。しかも、尾には骨があるので、現代の鳥類とは違う。鳥類とハエ類の両方の特徴を持った生物かな？



③

クリアボードを活用し、集団（班）で話し合わせる。



クリアボードを活用すると、書き換え等を簡単に行うことができるので、意見集約の過程を一人一人が確認できます。また、イラスト等を付け加えることも可能なので、多様な表現活動が可能です。

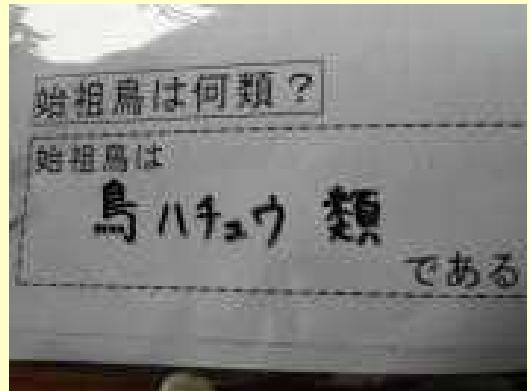
④

学級全体で考えさせる。



⑤

個人で考えさせる。



多様な考え方を全体で共有し、自分の考えと比較させます。



「自分のことば」でまとめさせることが大切です。



最後に、教師が授業のまとめを行います。生徒の発言等を取り上げ、生徒の言葉を生かしてまとめることが有効です。